

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5 年 6 月 16 日

熊本県知事 殿

提出者

住所 熊本県荒尾市宮内字下山下902

氏名 平井精密工業株式会社熊本事業所
 事業所長代理 品川 英雄
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 (0968) -62-0311



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 4 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	平井精密工業株式会社 熊本事業所
事業場の所在地	熊本県荒尾市宮内字下山下902
事業の種類	電気機械器具製造業 2779
特別管理産業廃棄物処理計における計画期間	令和 4 年 4 月 1 日 から 令和 5 年 3 月 31 日 まで

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	別紙参照 t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立て処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t



※事務処理欄

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類 :

廃酸)

有償物量
3771.00t

不要物等発生量

① 排出量
575.93 t

② 自ら直接
再生利用した量
0.00 t

③ 自ら直接埋立処分
又は海洋投入処分した量
0.00 t

項目	実績値
① 排出量	575.93 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.00 t
④ 自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩ 全処理委託量	575.93 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	559.11 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭ 熱回収認定業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

⑤ 自ら中間処理した後の残さ量
0.00 t

④ 自ら中間処理した量
0.00 t

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0.00 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.00 t

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
0.00 t

⑥ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.00 t

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
575.93 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.00 t

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
559.11 t

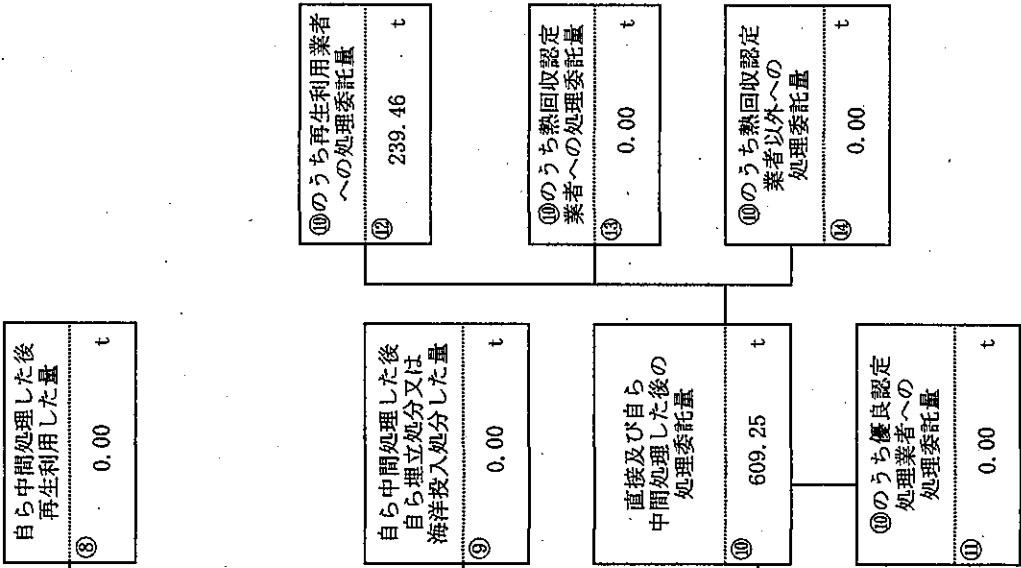
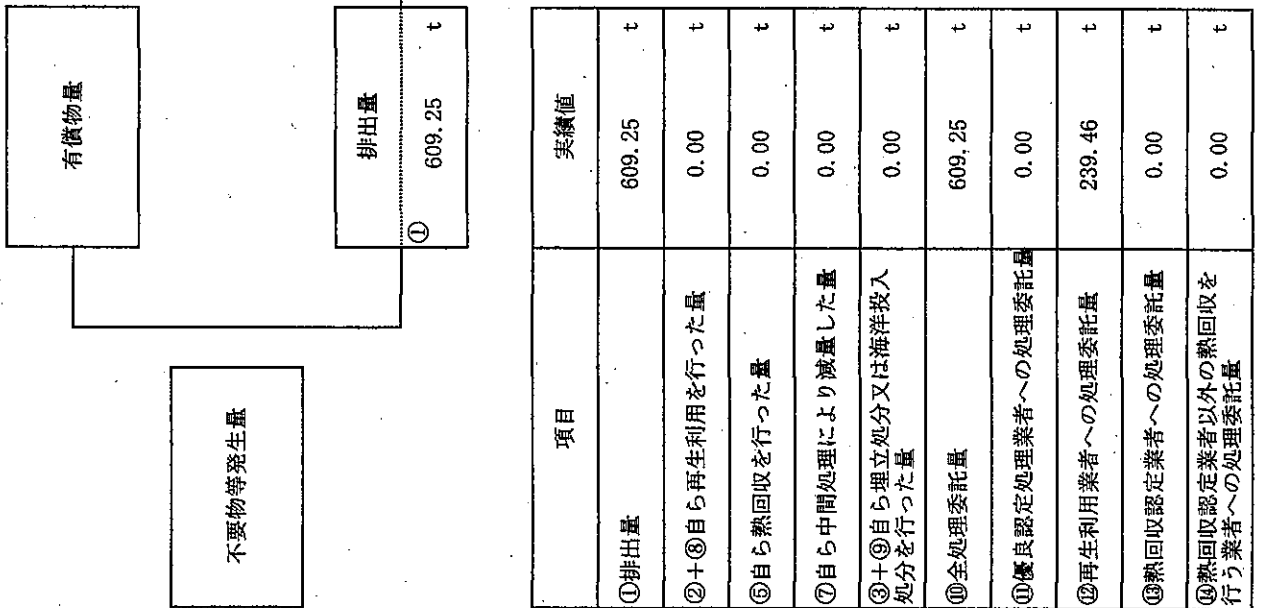
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.00 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外への処理委託量
0.00 t

計画の実施状況

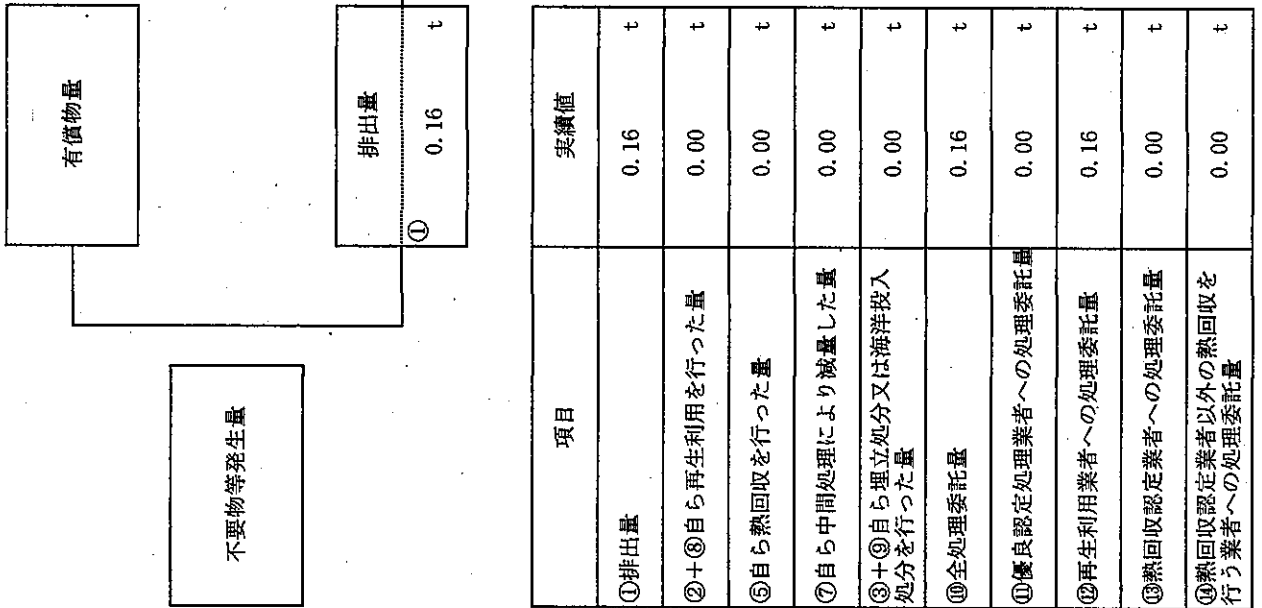
(特別管理産業廃棄物の種類 :

廃アルカリ)



(特別管理産業廃棄物の種類： 汚泥)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	0.16 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.00 t
④自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.16 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.16 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
0.00 t

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0.00 t

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0.16 t

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0.00 t

② 自ら直接再生利用した量
0.00 t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0.00 t

④ 自ら中間処理した量
0.00 t

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0.00 t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
0.00 t

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0.00 t

⑯ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0.16 t

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0.00 t

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の処理委託量
0.00 t

令和4年度 特別管理産業廃棄物の処理状況

特別管理産業廃棄物の種類	令和4年度発生量t		令和4年度排出量t			
	目標	実績	目標	実績		
廃酸(特管)	塩化鉄廃液	7,500.000	4,798.300	840.622	559.110	
	クロム酸廃液	4.932	4.891	4.932	4.891	
	クロム付着ウエス	0.500	0.080	0.500	0.080	
	水溶性レジスト廃液	2.354	2.858	2.354	2.858	
	ニッケル鍍金廃液	0.000	0.000	0.000	0.000	
	表面処理剤廃液(鍍金)	0.200	0.000	0.200	0.000	
	硫酸すず鍍金廃液	0.400	0.195	0.400	0.195	
	廃硫酸銅廃液	0.200	0.000	0.200	0.000	
	化学研磨廃液	0.200	0.000	0.200	0.000	
	メックブライト	0.000	0.070	0.000	0.070	
	現像洗浄液(ND-431)	1.066	0.000	1.066	0.000	
	GPE-1000廃液	46.123	8.730	46.123	8.730	
	廃酸(特管)の合計	7,555.975	4,815.124	896.597	575.934	
	廃アルカリ(特管)	アルカリ混合廃液(クロム含有)	693.239	574.930	693.239	574.930
		脱脂廃液(アルニオン混入)	56.813	29.640	56.813	29.640
		シアン廃液	0.450	0.000	0.450	0.000
		銅メッキ廃液(シアン含有)	0.200	0.000	0.200	0.000
DFRレジストカス		7.790	4.679	7.790	4.679	
廃アルカリ(特管)の合計	758.492	609.249	758.492	609.249		
汚泥(特管)	クロム付着金屬複合廃プラ類	0.000	0.000	0.000	0.000	
	クロム酸廃液付着空缶	0.200	0.160	0.200	0.160	
廃油(特管)	汚泥(特管)の合計	0.200	0.160	0.200	0.160	
	キシレン洗浄水	2.057	0.000	2.057	0.000	
廃油(特管)の合計	2.057	0.000	2.057	0.000		
特別管理産業廃棄物の合計	8,314.667	5,424.533	1,655.289	1,185.343		

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。